

飯山市DX推進計画

目次

第1章 はじめに……………3	第4章 取組事項……………16
1-1 計画策定の背景と趣旨	4-1 自治体DX推進計画における重点取組事項
1-2 DX、自治体DXとは	4-2 市の取組事項（別冊「4-2 市の取組事項 詳細」）
第2章 計画の位置付け、対象期間、現状 ……6	第5章 飯山市DXチャレンジプロジェクト ……19
2-1 本計画の位置付け	5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト
2-2 本計画の対象期間	5-2 取組事項との関連性
2-3 本市が抱える問題の整理と課題の設定	
2-4 本市の基盤整備の状況	第6章 推進体制……………24
第3章 計画の基本方針……………11	6-1 推進体制
3-1 飯山市DX、飯山市DX推進計画とは	6-2 デジタル人材の確保・育成
3-2 基本方針	6-3 民間事業者等との連携
3-3 ロードマップ	
	(別冊) 4-2 市の取組事項 詳細

令和4年(2022年)10月
飯 山 市

第1章 はじめに

1-1 計画策定の背景と趣旨

○近年のデジタル技術の急速な進化や、データの多様化・大容量化が進展し、その活用が不可欠となった。また、新型コロナウイルス対応において、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないことなど様々な問題が明らかとなったことから、こうしたデジタル化の遅れに対して迅速に対処するとともに、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、言わば社会全体のデジタル・トランスフォーメーション(DX)が求められている。

○国においては、こうした認識から「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が令和2年12月25日に閣議決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示された。

○また、このビジョンを実現するため、デジタル社会の構築に向けた取組みを全ての自治体において着実に進めるため、まずは、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められる、として「自治体DX推進計画」を策定した。

○本市では、人口減少・少子高齢化により、防災をはじめとした集落活動の維持が困難になりつつあるなどの問題への対応や、ライフスタイルの多様化に対応した行政サービスへの対応などといった様々な課題に対して、デジタル技術やデータをフル活用し解決を図るため本計画を策定する。

1-2 DX、自治体DXとは

「DX」と「自治体DX」を整理する。

ODX

Digital Transformationの略で、一般的には、「デジタル技術」と「データ」を活用して、既存の業務プロセス等の 改変を行い新たな価値を創出して新たな社会の仕組みに変革すること。

経済産業省が2018年に発表した「DXレポート」から広まり、企業の競争優位性を確立することが始まり。

【経産省の定義】

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

○自治体DX

自治体向けに言い換えると以下になる。

自治体が社会構造(人口減少・少子高齢化など)の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、住民や社会のニーズを基に、行政サービスを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、庁内文化・風土を変革し、人々にとってより良い社会を構築すること。

【補足】デジタル化とDXの違い

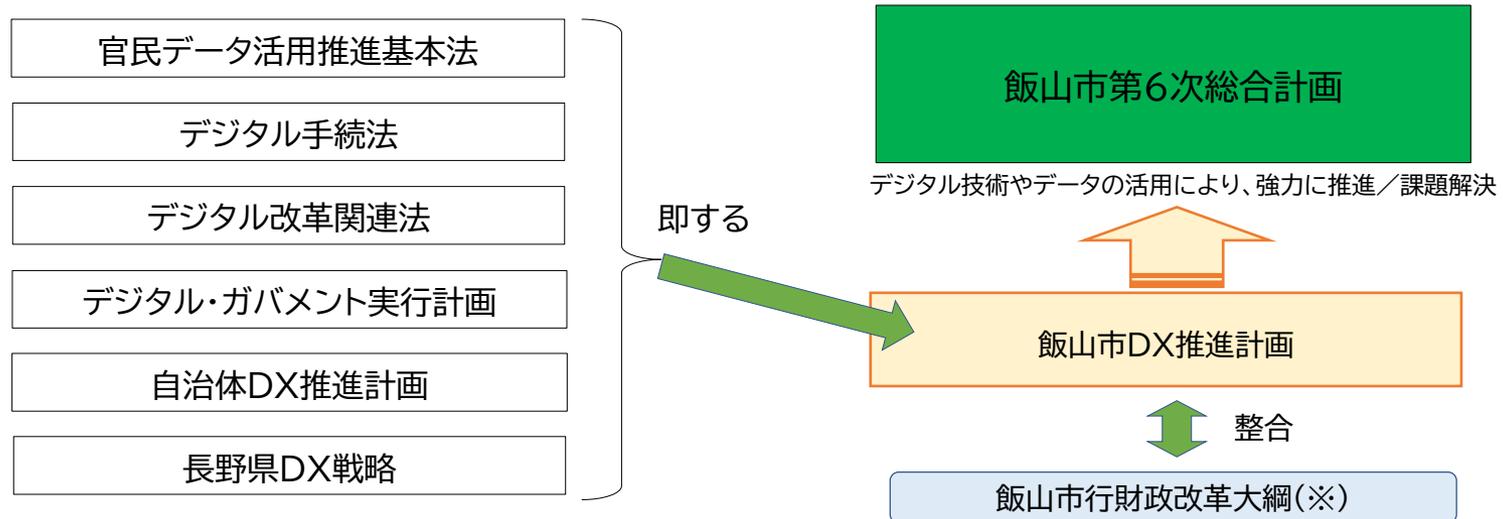
「デジタル化」とは、デジタル技術を用いて、紙を電子化したり、窓口申請をインターネット上でのやりとりに切り替えたりするなど、既存のシステムをデジタル技術を活用して効率化を図ること。「DX」とは「デジタル化」を手段として、ビジネスモデルを変革して新たなサービスを生み出すこと。

つまり、「デジタル化」は手段である一方、「DX」は目的でありゴール(達成)が異なる。

第2章 計画の位置付け、対象期間、現状

2-1 本計画の位置付け

飯山市DX推進計画は、国の関連法や計画及び長野県の戦略に即し、第6次総合計画に掲げられた将来都市像及び将来都市像を実現するための各種施策をデジタル技術やデータの活用により、飯山市行財政改革大綱などと整合を図りつつ、強力に推進・課題解決するための横断的な計画として位置付ける。



(※)飯山市行財政改革大綱とは、飯山市の未来に向けた健全な自治体経営の実現と後期基本計画の着実な推進を図るため、限られた資源(財源、人材、市民との協働)で最大限の効果を生み出すための行財政改革に係る取組を定めた計画

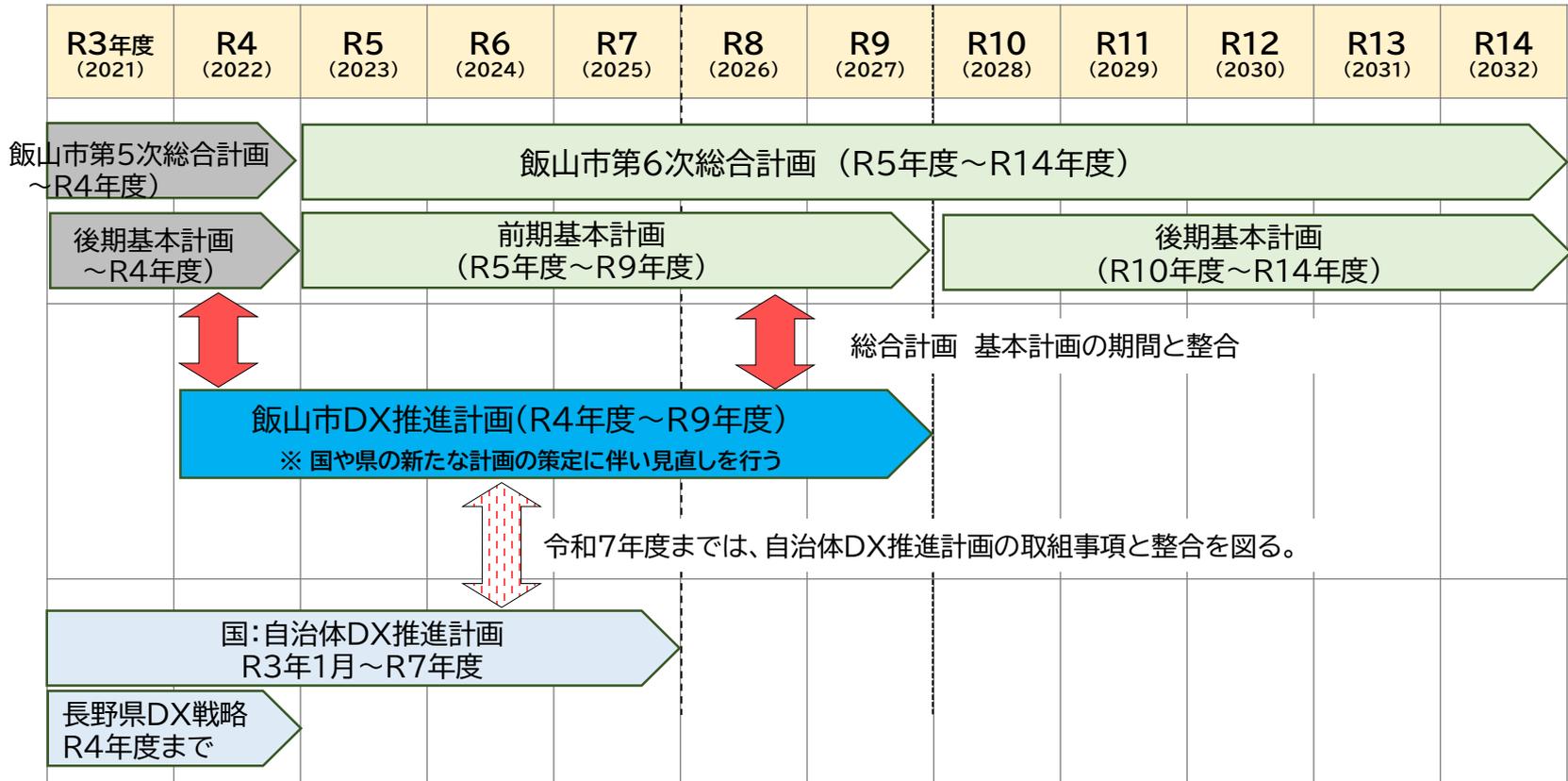
○官民データ活用推進計画について

・官民データ活用推進基本法(平成28年法律第103号)第9条の規定による「市町村官民データ活用推進計画」を当計画に位置付けます。
※市町村官民データ活用推進計画へ盛り込む項目は、「手続における情報通信の技術の利用等に係る取組」、「官民データの容易な利用等に係る取組」、「個人番号カードの普及及び活用に係る取組」、「利用の機会等の格差の是正に係る取組」及び「情報システムに係る規格の整備及び互換性の確保等に係る取組」を基本的な方針として、適宜掲載 (市町村官民データ活用推進計画策定の手引より)

2-2 本計画の対象期間

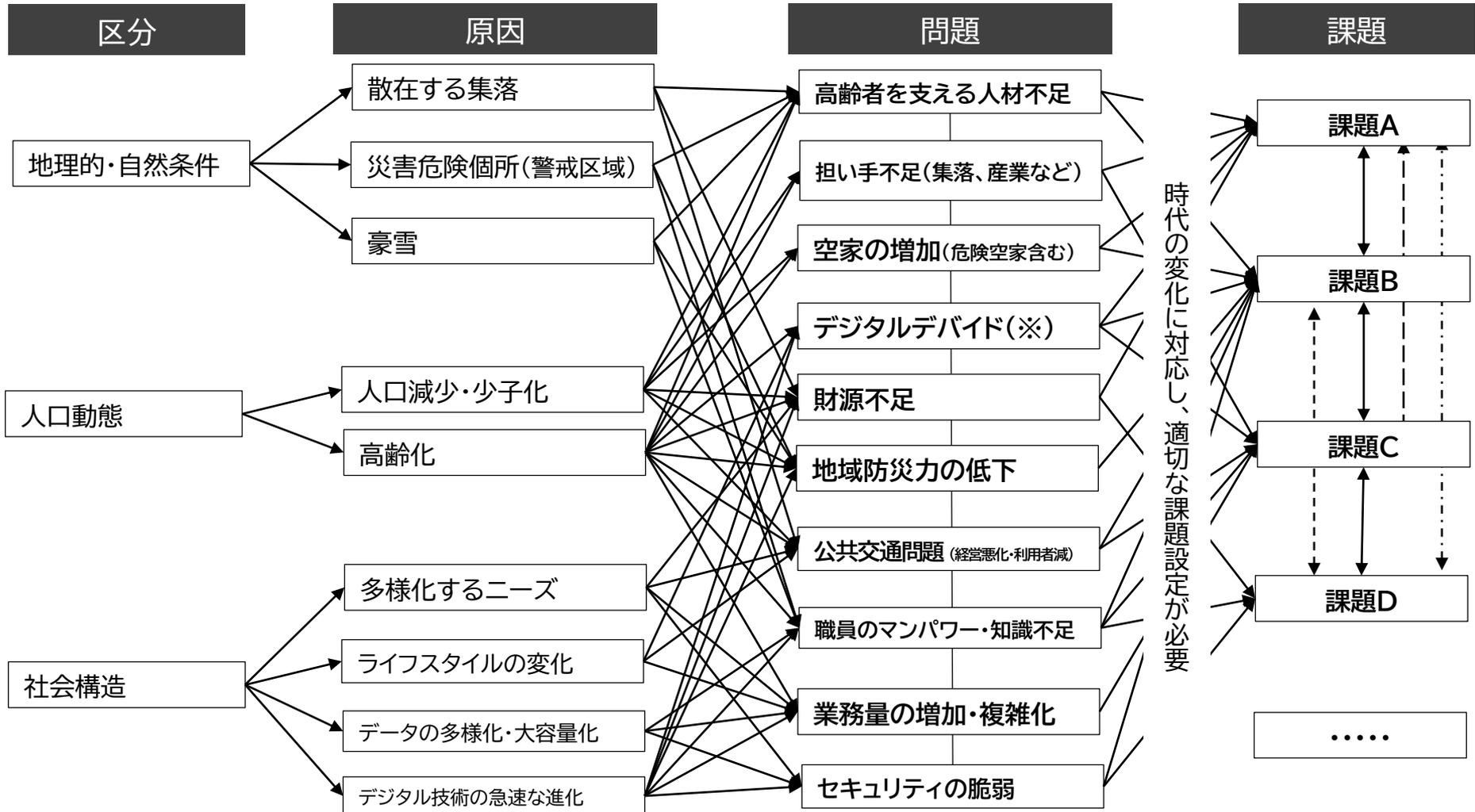
飯山市DX推進計画の対象期間は、飯山市第6次総合計画前期基本計画の計画期間と、また取組内容は国の自治体DX推進計画と整合を図る。

なお、国の計画や長野県の戦略の変更等を踏まえ、適宜見直しを図ることとする。



2-3 本市が抱える問題の整理と課題の設定

市が抱える多くの問題は、様々な原因が複雑に絡み合うように発生している。
問題を解決する課題の設定や解決手法は全体像を捉えて検討する必要がある。



(※)デジタルデバイドとはインターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと

2-4 本市の基盤整備の状況

これまで市や地域が実施してきた基盤整備の状況は以下のとおりである。

庁内ネットワーク	
LGWAN系ネットワーク	総合行政ネットワーク(Local Government Wide Area Network) 地方公共団体の組織内ネットワーク(以下「庁内LAN」という。)を相互に接続し、地方公共団体間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図ることを目的とする、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク
ファイル共有システム	
グループウェア	
GIS(地理情報システム)	
基幹系ネットワーク	
各種住民データ	住民基本台帳をはじめとした住民データ
データ管理システム	各種住民データを管理するシステム
地域ネットワーク	
ケーブルテレビ網	市内全域に敷設。基幹線は光ケーブル。
フリーWi-Fi	観光スポットや公共施設を中心に無料のアクセスポイントを設置
デジタル防災無線	全戸および公共施設へ設置
メール配信システム	メールアドレス登録者へ防災情報などをに配信
地域(互助・共助)	
集落・各種団体	
自主防災組織	地域の自主防災を目的として結成された団体
除雪支援隊・協力隊	各区内において、高齢者等の世帯に対し、有償で除雪を行う団体
民生児童委員	地域住民から社会福祉に関する相談を受け支援を行う団体
まちづくり団体	特定非営利活動法人、任意のまちづくり団体など、まちづくりを主な目的として活動している団体

第3章 計画の基本方針

3-1 飯山市DX、飯山市DX推進計画とは

「飯山市DX」を推進するため、「飯山市DX推進計画」を策定します。

○飯山市DX

市民や来訪者一人ひとりが豊かさを実感できるまちを実現するために、デジタル技術やデータを活用し、

- ① 市民や来訪者など飯山市に関わる全ての関係者の利便性を向上させる、
- ② 市役所業務のスマート化(※)を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげる、
- ③ ①、②に必要な基盤整備や構築を行う、

これらを進め、市の課題解決と災害予測や対策、暮らしに役立つ仕組みを構築する。

(※)市役所業務のスマート化とは、AIやRPA及びICT等のデジタル技術を駆使し、業務全体を効率化・自動化すること。

基本方針

○飯山市DX推進計画

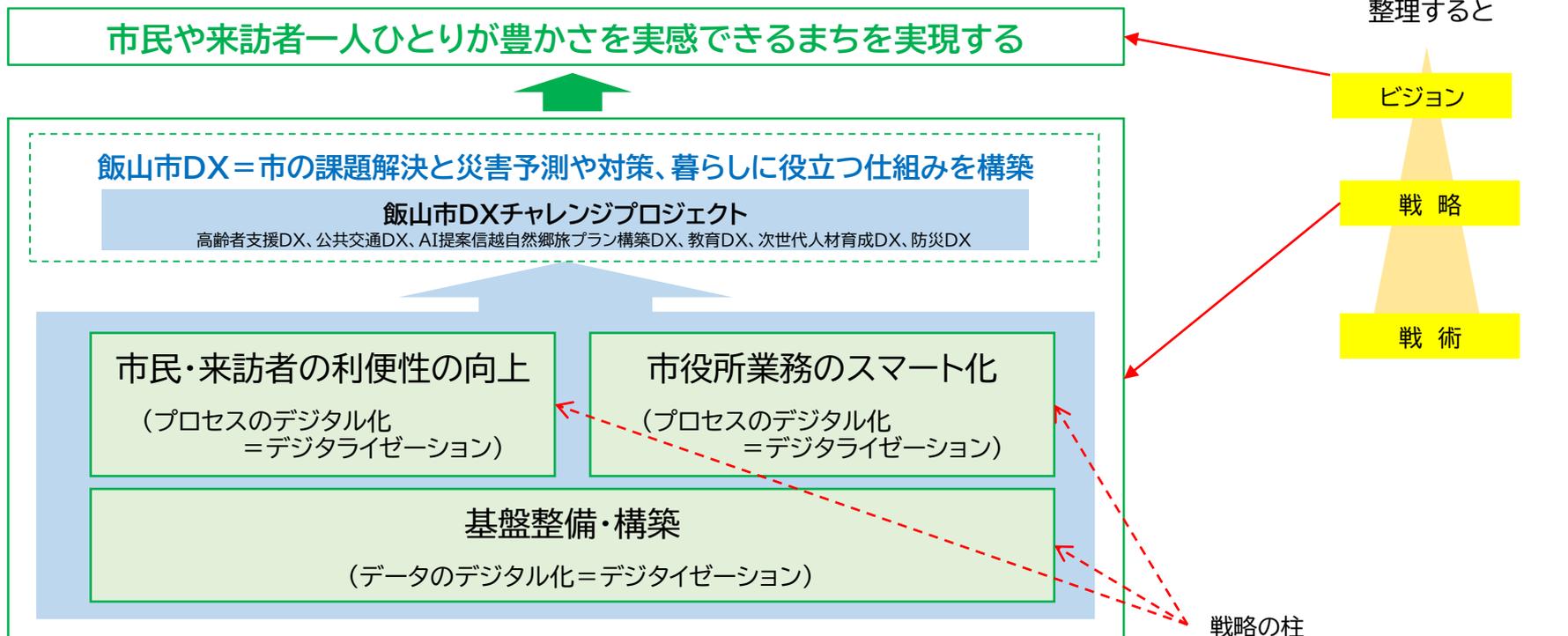
①～③を体系的に整理し、取組事項やその手順など、どのように進めていくかを明文化したものの。

3-2 基本方針

飯山市のDXは、市民や来訪者一人ひとりが豊かさを実感できるまちを実現するために、デジタル技術やデータを活用し、市民・来訪者の利便性の向上、市役所業務のスマート化、それに必要な基盤整備・構築を進め、市の課題解決と災害予測や対策、暮らしに役立つ仕組みを構築する。

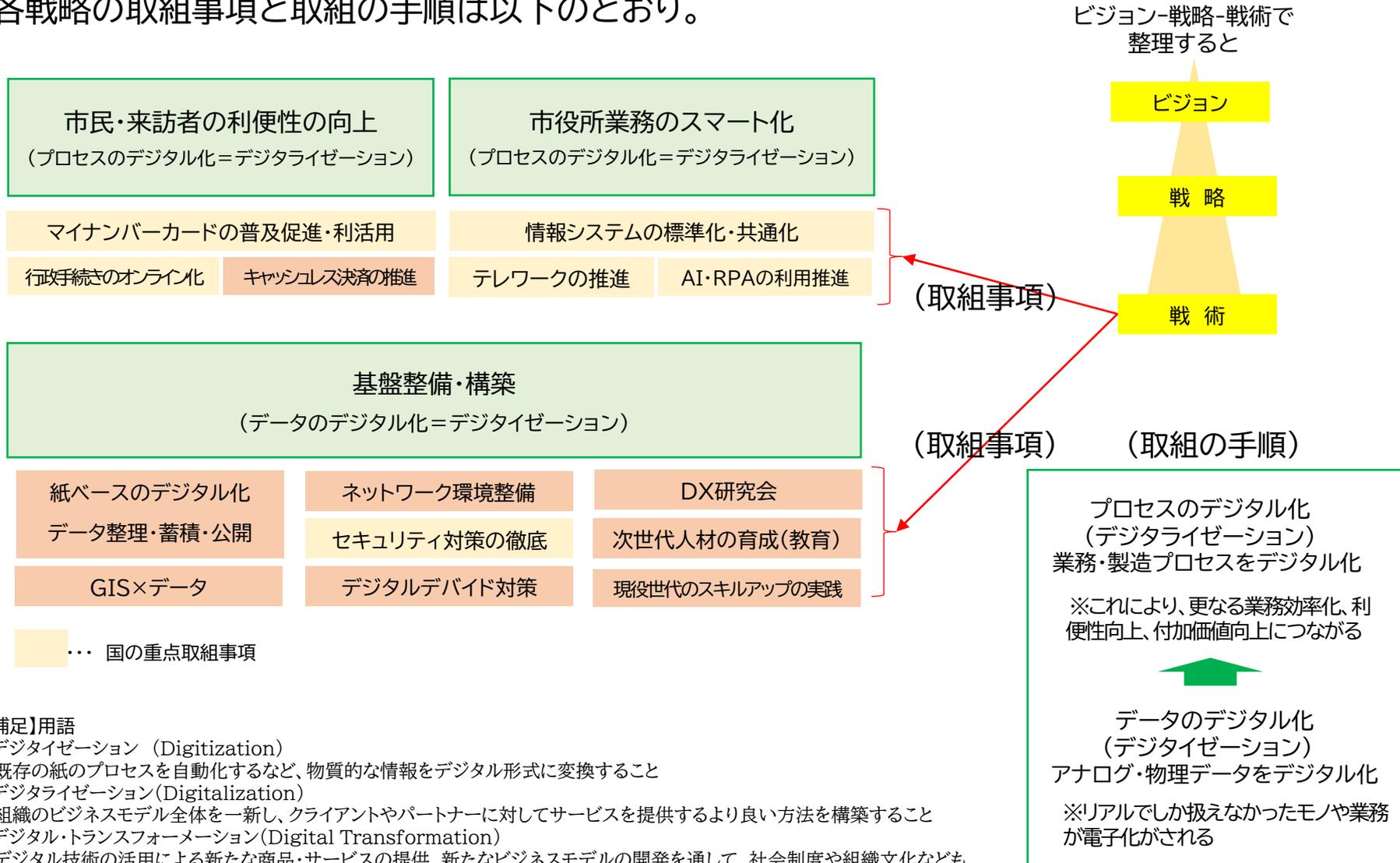
以下に、基本方針を体系的に整理する。

(体系的に整理)



3-2 基本方針

各戦略の取組事項と取組の手順は以下のとおり。



【補足】用語

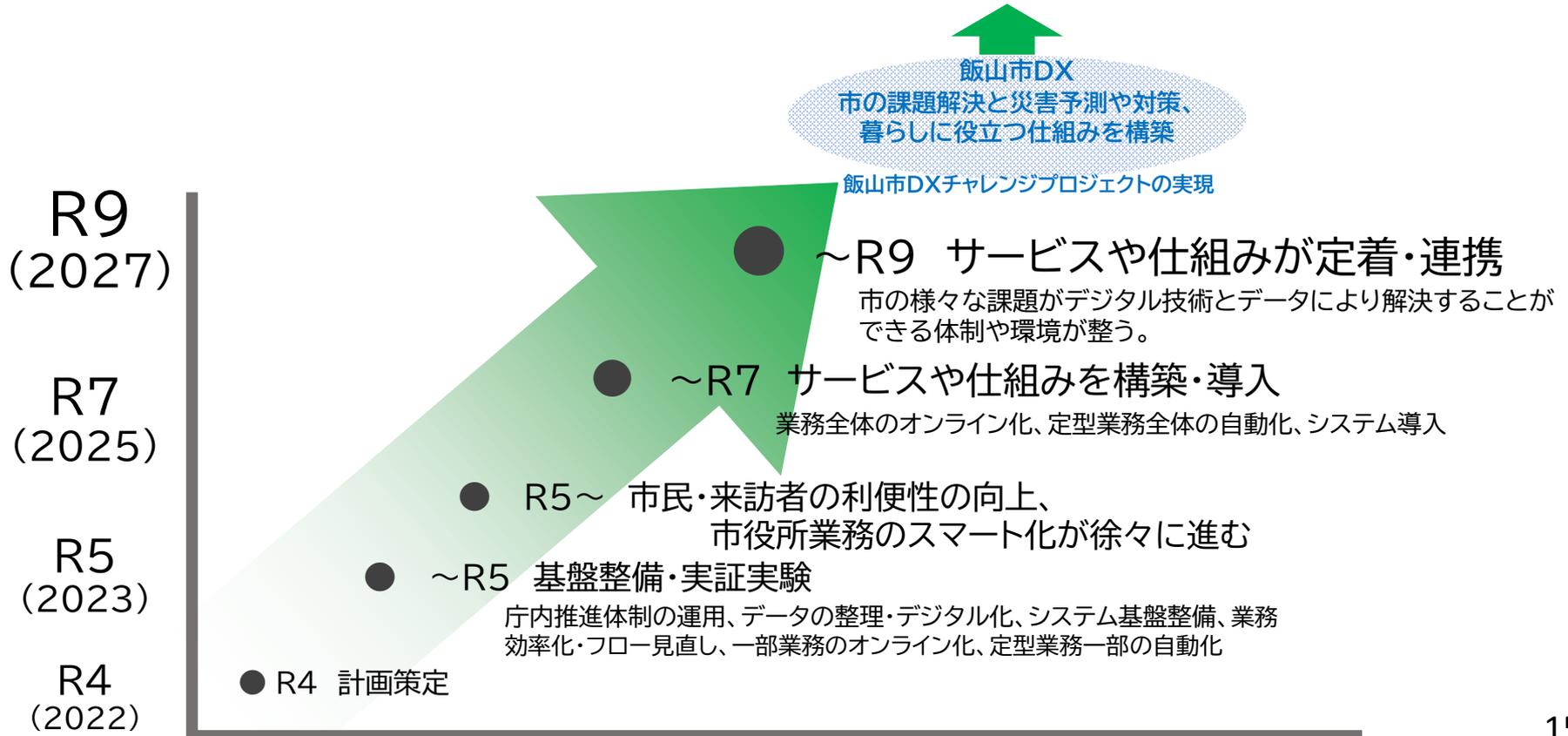
- ・デジタイゼーション (Digitization)
既存の紙のプロセスを自動化するなど、物質的な情報をデジタル形式に変換すること
 - ・デジタイゼーション(Digitalization)
組織のビジネスモデル全体を一新し、クライアントやパートナーに対してサービスを提供するより良い方法を構築すること
 - ・デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)
デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取組を指す概念
- (総務省ホームページ引用)

3-3 ロードマップ

飯山市DXのロードマップは以下のとおり。

策定から2年間は概ねデータのデジタル化(デジタイゼーション)とプロセスのデジタル化(デジタイゼーション)などのサービスや仕組みを構築するための基盤整備や実証実験を行い、令和7年度までにその構築・導入を始める。計画目標年度の令和9年度には、それらが互いに連携しながら定着するとともに、様々な課題がデジタル技術やデータを活用し解決できる体制や環境を整える。

市民や来訪者一人ひとりが豊かさを実感できるまちを実現する



第4章 取組事項

4-1 自治体DX推進計画における重点取組事項

国が定めた自治体DX推進計画(令和2年12月25日閣議決定)における自治体が行き組むべき重点取組事項は以下のとおりである。

①自治体の情報システムの標準化・共通化

目標時期を2025年度とし、「(仮称)Gov-Cloud」の活用に向けた検討を踏まえ、基幹系17業務システムについて国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行

②マイナンバーカードの普及促進

2022年度末までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを目指し、交付円滑化計画に基づき、申請を促進するとともに交付体制を充実

③自治体の行政手続のオンライン化

2022年度末を目指して、主に住民がマイナンバーカードを用いて申請を行うことが想定される手続(31手続)について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能に(※子育て(15手続)、介護(11手続)、被災者支援(罹災証明書)、自動車保有(4手続)の計31手続)

④自治体のAI・RPA の利用推進

①、③による業務見直し等を契機に、AI・RPA導入ガイドブックを参考に、AIやRPAを導入・活用を推進

⑤テレワークの推進

テレワーク導入事例やセキュリティポリシーガイドライン等を参考に、テレワークの導入・活用を推進

①、③による業務見直し等に合わせ、対象業務を拡大

⑥セキュリティ対策の徹底

改定セキュリティポリシーガイドラインを踏まえ、適切にセキュリティポリシーの見直しを行い、セキュリティ対策を徹底

4-2 市の取組事項

各戦略の柱に掲げた取組事項は以下のとおり。
なお、各取組の詳細は、別冊「4-2 市の取組事項 詳細」を参照

- 1 市民・来訪者の利便性の向上
 - (1)マイナンバーカードの普及促進・利活用（国の重点取組事項に即した取組）
 - (2)行政手続きのオンライン化（国の重点取組事項に即した取組）
 - (3)キャッシュレス決済の推進
- 2 市役所業務のスマート化
 - (1)情報システム標準化・共通化（国の重点取組事項に即した取組）
 - (2)テレワークの推進（国の重点取組事項に即した取組）
 - (3)AI・RPAの利用推進（国の重点取組事項に即した取組）
- 3 基盤整備・構築
 - (1)紙ベースのデジタル化、データの整理・蓄積・公開
 - (2)GIS×データ
 - (3)ネットワーク環境整備
 - (4)セキュリティ対策の徹底（国の重点取組事項に即した取組）
 - (5)デジタルデバイス対策
 - (6)DX研究会
 - (7)次世代人材の育成(教育)
 - (8)現役世代のスキルアップの実践

各取組の詳細は、別冊「4-2
市の取組事項 詳細」を参照

上記のほか、各課等が抱える課題を解決するための手段にデジタル技術の積極的な活用を図る。
なお、デジタル技術の活用、導入に関する検討などは第6章「推進体制」に基づく。

第5章 飯山市DXチャレンジプロジェクト

5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト

計画期間内に実現を目指すサービスや仕組みを「飯山市DXチャレンジプロジェクト」として位置づけ、具現化に向けて取り組む。

高齢者支援DXプロジェクト

身体状況、家族構成、地域などで異なるニーズを把握

【主管課：事業戦略室、地域包括支援センター、危機管理防災課、企画財政課、保健福祉課】

※イメージ

課題の設定



プロジェクト概要

○高齢者の見守り、災害対応、移動、買い物を支援する。

- ・日常の安否や緊急通報などの見守り手法と支援体制の構築
- ・災害時における一人ひとりに対する避難対応
- ・公共交通の予約方法、バス停までの移動
- ・買い物支援
- ・医療・相談体制の整備・充実

スケジュール

- 令和7年度から単独サービス運用開始
- 令和9年度からワストップサービス

支援者
(地域・民間事業者)

支援・活用
GIS×データ

デジタル技術

5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト

公共交通DXプロジェクト

【主管課:企画財政課】

※イメージ

スマホで予約、支払いなど

プロジェクト概要	<p>○持続可能な交通システムを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・利用者の行動実態に合わせた効率的な運行(予約方法、支払方法を含む) ・飯山駅を含む中心市街地への移動に係る利便性の向上 ・自宅から停留所までの移動に係る負担の軽減 ・飯山駅を拠点とした観光誘客につながる二次交通の確保及び市内・外を結ぶ移動ネットワークの確保・維持
スケジュール	○令和5年度から調査・研究を実施

AI提案信越自然郷旅プラン構築DXプロジェクト

【主管課:広域観光推進室】

※イメージ

【主管課:広域観光推進室】

- ・名所、穴場、移動手段などを蓄積
- ・集約したデータは、レイヤー(道路、施設、ビューポイント、イベント、飲食店、体験など)で管理

蓄積

AIが最適な旅行プランを提案

提案

おすすめルート

おすすめルート 1

- ・移動手段 ○○
- ・移動距離 △△
- ・消費カロリー ××

10:00 飯山駅発

10:20 ◆◆ 着

11:20 □□□

プロジェクト概要	<p>○来訪者に最適な旅行プランをAIが提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地毎のデータ整理・蓄積・更新 ・趣味趣向、年代、出身国、滞在時間等と最適な観光ルートのマッチング
スケジュール	<p>○令和5年度に実証実験</p> <p>○令和6年度からサービス開始</p>

5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト

教育DXプロジェクト、次世代人材育成DXプロジェクト (GIGAスクール構想の推進、STEAM教育など)

【主管課:子ども育成課、公民連携推進室、市民学習支援課】

※イメージ



ICTを活用した教育プログラム



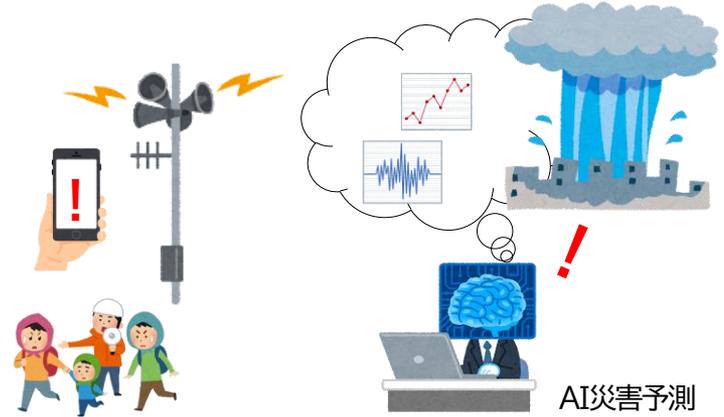
STEAM教育

<p>プロジェクト概要</p>	<p>【教育DXプロジェクト】 ○ICT機器をフル活用した学習スタイルを構築する。</p> <p>○児童・生徒一人ひとりの学習過程の蓄積と活用を図る。</p> <p>【次世代人材教育プロジェクト】 ○STEAM教育など学びの場を創出する。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>【教育DXプロジェクト】 ○令和5年度から具体的に検討</p> <p>【次世代人材教育プロジェクト】 ○令和5年度から講座スタート</p>

防災DXプロジェクト

【主管課:危機管理防災課】

※イメージ



<p>プロジェクト概要</p>	<p>○頻発化、激甚化する災害へ対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における人員不足の解消(情報収集等) ・避難判断の予測(洪水、土砂災害など) ・迅速な避難情報等の伝達 ・災害状況、対応などの情報発信
<p>スケジュール</p>	<p>○令和4年度に検討・実証実験</p> <p>○令和5年度から随時導入</p>

5-2 取組事項との関連性

取組事項とDXチャレンジプロジェクトの関連性を整理し、各プロジェクトには欠かせない取組を明確にする。

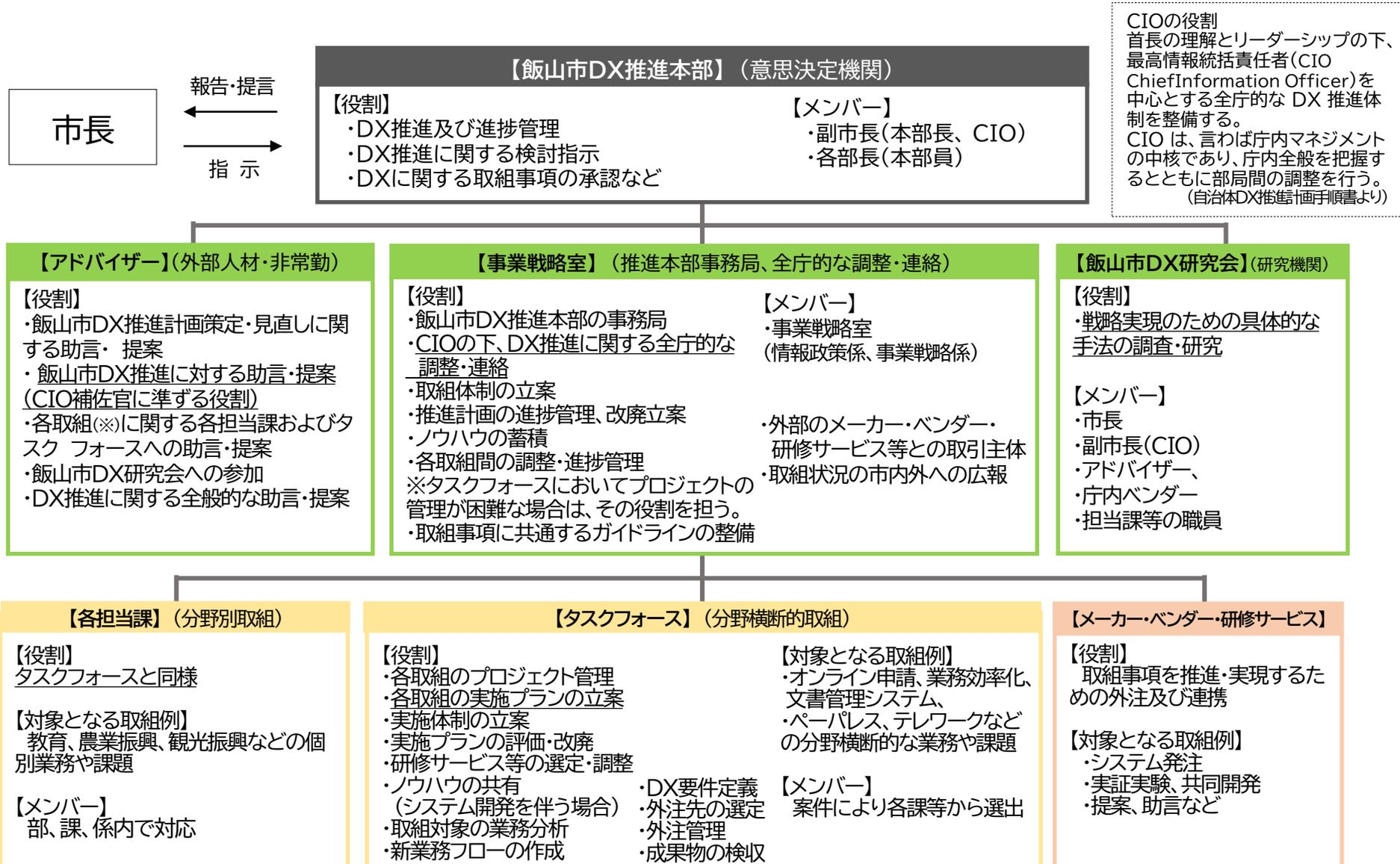
DL1	市民・来訪者の利便性の向上
a	マイナンバーカードの普及促進・利活用
b	行政手続きのオンライン化
c	キャッシュレス決済の推進
DL2	市役所業務のスマート化
a	情報システムの標準化・共通化
b	テレワークの推進
c	AI・RPAの利用推進
DT	基盤整備・構築
a	紙ベースのデジタル化データ整理・蓄積・公開
b	GIS×データ
c	ネットワーク環境整備
d	セキュリティ対策の徹底
e	デジタルデバイド対策
f	DX研究会
g	次世代人材の育成(教育)
h	現役世代のスキルアップの実践



※DL、DTは、それぞれ Digitalization (デジタライゼーション)、Digitization (デジタイゼーション) の略。

第6章 推進体制

6-1 推進体制

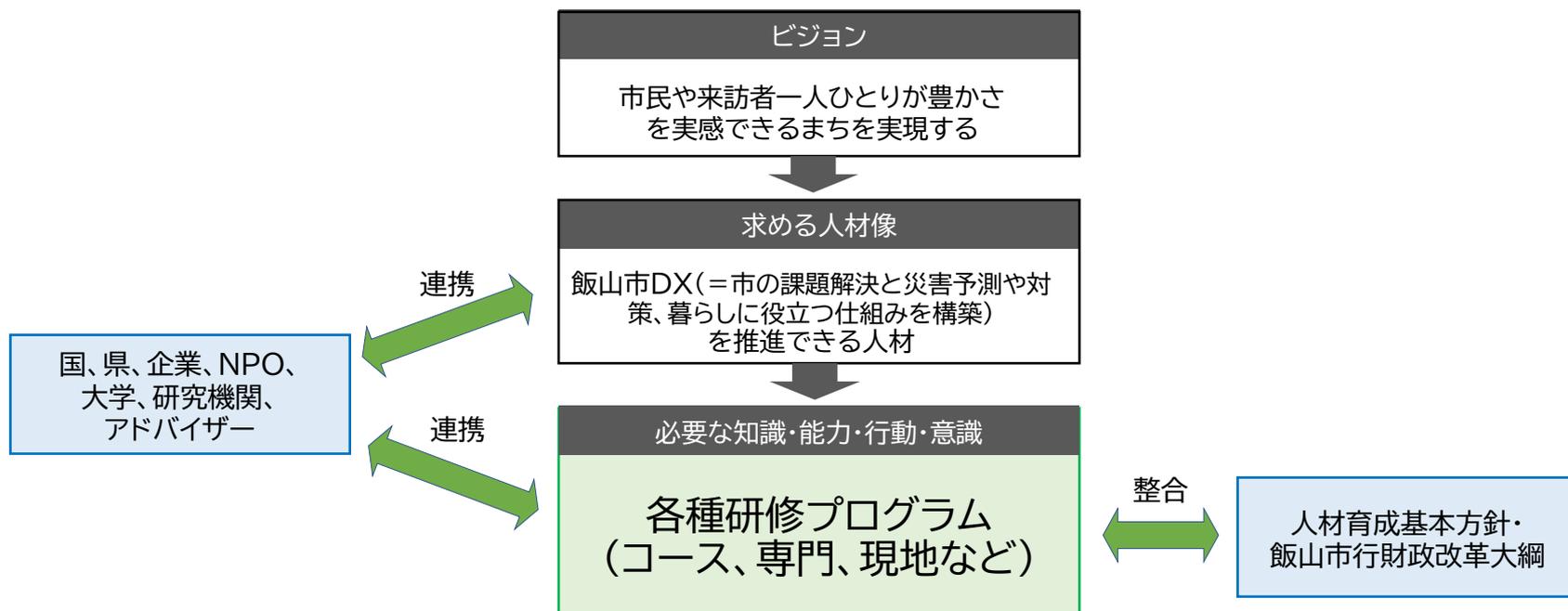


※このページの「各取組」は「飯山市チャレンジプロジェクト」を含む

6-2 デジタル人材の確保・育成

デジタル技術やデータを活用し地域課題の解決を進めることのできる職員を育成し各担当業務でDXを推進するため、デジタル人材の確保・育成に関する各種研修を実施する。

【デジタル人材の確保・育成の概要】



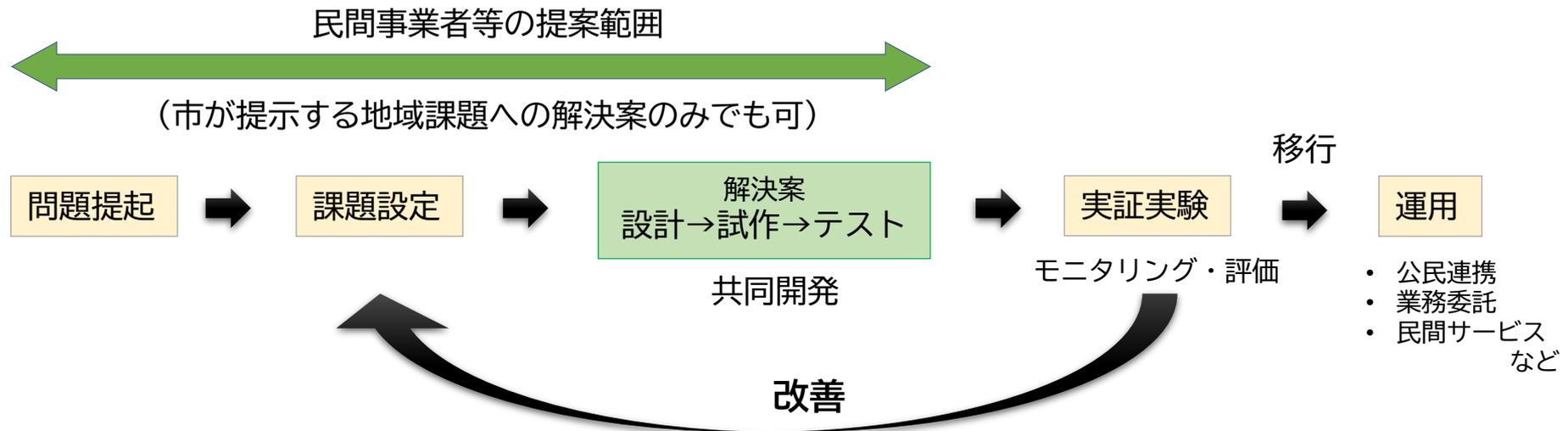
<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考	
各種研修プログラム	制度設計	実施						

6-3 民間事業者等との連携

民間事業者等から幅広く提案を募るとともに積極的に連携し、DXチャレンジプロジェクトをはじめ、様々な地域課題を解決するためのサービスや仕組みを創出・構築する。

【民間事業者等との連携のイメージ】



- (1) 提案内容は、既存サービスを活用するもの、新規システム開発を伴うもののいずれでも構わないものとする
- (2) 運用への移行が決定された提案事業者に対しては、市からインセンティブを付与する
- (3) システム開発に際しては、市と提案事業者との共同開発とする
- (4) 運用事業者との連携手法は、公民連携・業務委託・民間サービスとして実施など、プロジェクトの特性に応じて最適な手法を検討する